

道路路肩保護工を実施しました

東部土木事務所 道路管理班

道路除草については基本的に年1回実施し、道路環境の保護に努めている状況であるが、盛土、切土法面及びカーブ箇所の雑草繁茂による安全確保が課題となっています。よって、地方部道路の盛土、切土部における交通安全対策と維持管理の低減を図るため、路肩保護工の試験施工を実施しました。

路肩保護工法について、場所打ちコンクリート、コンクリートブロック、防草シートの3工法を実施し、経済性・施工性等を検証しました。

試験施工箇所 (主) 石巻鮎川線 石巻市荻浜地内(盛土部)

●施工前状況写真

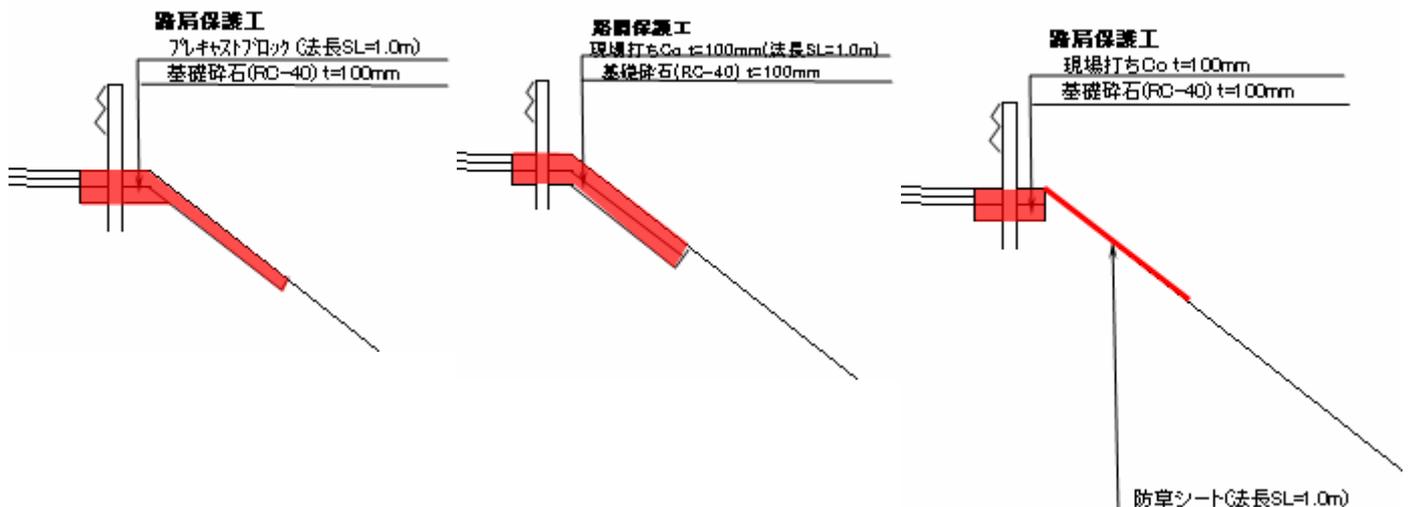


●標準断面図

(プレキャストブロック)

(現場打ちコンクリート)

(現場打ちコンクリート+シート)



●完成写真



(現場打ちコンクリート+シート)

(プレキャストブロック)

(現場打ちコンクリート)



※今回の試験施工では、防草シートメーカーからの資材提供を受けたため、法面下部までシートを施工した。

●経済性

タイプ	単価(円/m)	除草との比較	備考
プレキャストブロック	14,000	47	
現場打ちコンクリート	6,000	20	幅1.5m
現場打ちCo+防草シート	3,000	10	CO法肩0.5m.シート法面1.0m
通常の維持管理(除草)	300	1	年2回

●施工性 (現地確認及び施工者からの聞き取り)

- ・プレキャストブロックタイプは製品重量が重く、設置が難しい。また地山との間詰め及び角度調整等施工性が非常に悪い。
- ・現場打ちコンクリートタイプは、法面の打設において流動の恐れがあるため固練り等スランプに考慮が必要である。シートタイプは、当初の予定より貼付手間がかかった。
- ・全般的に供用開始後の施工は難しく、新設道路での実施が望ましい。

今後は施工箇所の経過観察により、耐久性等効果の検証を行う